

令和3年度 山形県立米沢東高等学校 学校評価

○ 校訓・教育精神

修 誠

「修誠」を校訓として、次の陶冶に努めることをもって教育精神とする。
◇ 美しい品性 ◇ 高い知性 ◇ 篤い至誠

○ 教育目標

- 1 主体的に学び、未来を創造できる人を育てる。
- 2 至誠と責任を重んじ、社会に貢献できる人を育てる。
- 3 美しい品性を備え、真理と文化を愛する人を育てる。
- 4 高い知性と健康な身体をもち、自立できる人を育てる。

○ 目指す学校像

- 1 「修誠」の精神を継承し、人間性を豊かに育む学校
- 2 自立した学習者として、生徒が主体的に学び、高め合う学校
- 3 進学型単位制の特色を生かし、一人一人の夢を達成できる学校
- 4 高い志と広い視野を持ち、地域に貢献する学校

◎特に成果が見られた取組 ○成果が見られた取組 △さらに取り組む必要がある課題

重点目標	具体的方策	達成状況と今後の課題（自己評価 A：達成／B：概ね達成／C：やや不十分／D：不十分）	評価	学校関係者評価
1 学力の三要素のバランスがとれた学力の育成とそれを支えるリーディングスキルの養成	① 授業改善による「主体的・対話的で深い学び」の実現 ② 授業の工夫と家庭学習の充実による基礎力と活用力の向上 ③ 知性や人間性を磨くための読書の推進（「ビブリオバトル」の実践・普及）とリーディングスキル養成のための「読む」ことの重視	◎ICTを活用した授業づくりの積極的な取組み ◎各教科内での指導法・評価方法についての意欲的な議論 ◎教科会における授業内容についての活発な議論 ○生活と学習の記録の面談への活用 ○定期考査において、大学入学共通テスト形式問題の出題による、思考力・判断力・表現力の評価 ○朝学習「読む」の継続 ◎知的書評合戦「ビブリオバトル」での県入賞 ○NIEの取組 ○図書委員会活動の活性化	A	◎リーディングスキル、年々深まっている。一層、深まり・面白さを実感させたい。 ○「対話的」な学びは大事。読書推進、ビブリオバトル参加生徒の増加に期待。 ◎ICT機器を活用を通して授業改善が行われていることが素晴らしい。△更なる活用の視点とICTを活用しない指導法の良さの両方の視点で深めていただきたい。 ◎コロナを奇貨として、ICT活用を進めた点、一方情報化時代の弊害である思考力・長文読解力の低下に対して読書活動を強化した点が評価できる。 ◎学校評価アンケートから、生徒自身が自己肯定感をもって行動していることがわかる。また、学校に来るのが楽しく感じ、安心して生活できる場となっている。 ○「教育は個において成立する」生徒理解あつての指導、数字で表せない部分の理解・評価・奨励、・・・など生かされている。ますます大事にしていきたい。 ○自他を尊重するためには、対話的な交流による自己理解が大事だと思う。 △少数派の生徒への個別対応のあり方の模索をお願いしたい。
2 自ら判断し行動できる生徒の育成	① 自主的・自律的な生活態度と公共心の養成 ② 自他を尊重し、高め合う集団づくり ③ 自治的・創造的な生徒会活動とタイムマネジメントを意識した効率のよい部活動の推進	○生徒保健課・各年次の協力による生徒指導 ○ボランティア活動の模索・工夫 △列車・自転車乗車マナーの意識向上 ◎組織的ないじめ防止・不登校対策 ○校内生活状況調査の実施による問題点の早期把握 ◎委員会による自主的な活動 ◎制限がある中の生徒会行事での工夫した企画・運営 ○感染予防を徹底しての効率的な部活動の運営	A	◎i-Seeプロジェクトに学ぶ生徒自身が高い意識で取り組んでいることが素晴らしい。コロナ影響があるが、更なる創意工夫で生徒の力を高めていただきたい。 ◎グループワーク、課題探究学習は着実に進められているとの印象がある。 ○職員研修会によりゼミの充実、外部講師招聘で深まりを支援、進化させている。 ○金融教育・SDGs推進・成人年齢18歳・地球環境問題・・・等々、多岐に亘る課題が高校教育に期待されている。教育内容・教育方法の変革の年だと感じる。 災害・事故発生時に備え、◎校内は整備され点検良好。△学校周辺の冬期道路の積雪状況、従来より改善しているが、本校・児童小周辺の除雪をお願いしたい。 ◎コロナ対策等への適切な対応、生徒のストレスや不安に対応いただいている。 ◎身体・精神の健康保持に、スクールカウンセラー事業をよく活用している。 △保健室来室者が増加するのは、コロナ禍の負担のためと思われる。手厚い対応が必要。また、施設の老朽化による事故が心配。
3 未来を拓く力をつける探究型学習とキャリア教育の推進	① 探究型学習を推進して、思考力・判断力・表現力等と学びに向かう力を着実に育てる ② 高い志の育成と個性を伸ばすキャリア教育の推進 ③ 総合的な探究の時間における、課題探究学習（i-Seeプロジェクト）の充実・発展と主体的な探究活動としてのキャリア教育の実施	◎グループワークによる意見交換での表現力の向上 △県内大学・短大等との連携 ○各種ガイダンスによる進路意識の高揚 ○保護者を含めた進路講演会の実施 △低学年からの進路意識の啓蒙 ◎課題探究学習での地域協力者による質向上 ○1・2年次の課題探究活動のあり方の改善 △「探究ノート」活用の工夫	B	◎i-Seeプロジェクトに学ぶ生徒自身が高い意識で取り組んでいることが素晴らしい。コロナ影響があるが、更なる創意工夫で生徒の力を高めていただきたい。 ◎グループワーク、課題探究学習は着実に進められているとの印象がある。 ○職員研修会によりゼミの充実、外部講師招聘で深まりを支援、進化させている。 ○金融教育・SDGs推進・成人年齢18歳・地球環境問題・・・等々、多岐に亘る課題が高校教育に期待されている。教育内容・教育方法の変革の年だと感じる。 災害・事故発生時に備え、◎校内は整備され点検良好。△学校周辺の冬期道路の積雪状況、従来より改善しているが、本校・児童小周辺の除雪をお願いしたい。 ◎コロナ対策等への適切な対応、生徒のストレスや不安に対応いただいている。 ◎身体・精神の健康保持に、スクールカウンセラー事業をよく活用している。 △保健室来室者が増加するのは、コロナ禍の負担のためと思われる。手厚い対応が必要。また、施設の老朽化による事故が心配。
4 健康で安全な学校生活の向上	① 健康・安全に対する正しい理解と自己管理能力の養成 ② 「いのち」の教育の推進と教育相談の充実 ③ 学習環境の整備と危機管理・防災体制の充実	◎防犯や交通安全に関わる各講話の実施による意識高揚 ○新型コロナウイルス感染防止の広報 △コミュニケーション力不足・SNS利用の問題 ◎カウンセラーによる「悩みごと」相談の活用 ◎精神衛生指導委員会による協働体制での対応 ◎校内の危険箇所等の早期改修 ○グラウンドの整地 △引率なしでの避難訓練等の実施	A	◎i-Seeプロジェクトに学ぶ生徒自身が高い意識で取り組んでいることが素晴らしい。コロナ影響があるが、更なる創意工夫で生徒の力を高めていただきたい。 ◎グループワーク、課題探究学習は着実に進められているとの印象がある。 ○職員研修会によりゼミの充実、外部講師招聘で深まりを支援、進化させている。 ○金融教育・SDGs推進・成人年齢18歳・地球環境問題・・・等々、多岐に亘る課題が高校教育に期待されている。教育内容・教育方法の変革の年だと感じる。 災害・事故発生時に備え、◎校内は整備され点検良好。△学校周辺の冬期道路の積雪状況、従来より改善しているが、本校・児童小周辺の除雪をお願いしたい。 ◎コロナ対策等への適切な対応、生徒のストレスや不安に対応いただいている。 ◎身体・精神の健康保持に、スクールカウンセラー事業をよく活用している。 △保健室来室者が増加するのは、コロナ禍の負担のためと思われる。手厚い対応が必要。また、施設の老朽化による事故が心配。
5 外部との連携及び働き方改革の推進による活力あふれる学校づくり	① 国際交流活動や地域貢献・地域づくり活動、校外活動等への積極参加 ② 外部との連携による諸活動の充実・発展 ③ HP等による情報発信・広報活動の充実と米東メール等による保護者への確実な連絡 ④ 修誠会の協力を得て、保護者の理解のもとで、教職員の「働き方改革」を推進する	○地域行事・ボランティア活動への積極的参加 ○スピーチコンテスト等への積極的参加 ◎探究型学習での外部との連携 ◎学校の魅力の積極的な発信・PR（オープンスクール配付用の独自パンフレット作成） ○学校ホームページと米東メールの活用促進 △ホームページ内容の特定化 △「教員の働き方改革」を踏まえた修誠会との連携 △コロナ禍での活動のあり方の検討	B	◎i-Seeプロジェクトに学ぶ生徒自身が高い意識で取り組んでいることが素晴らしい。コロナ影響があるが、更なる創意工夫で生徒の力を高めていただきたい。 ◎グループワーク、課題探究学習は着実に進められているとの印象がある。 ○職員研修会によりゼミの充実、外部講師招聘で深まりを支援、進化させている。 ○金融教育・SDGs推進・成人年齢18歳・地球環境問題・・・等々、多岐に亘る課題が高校教育に期待されている。教育内容・教育方法の変革の年だと感じる。 災害・事故発生時に備え、◎校内は整備され点検良好。△学校周辺の冬期道路の積雪状況、従来より改善しているが、本校・児童小周辺の除雪をお願いしたい。 ◎コロナ対策等への適切な対応、生徒のストレスや不安に対応いただいている。 ◎身体・精神の健康保持に、スクールカウンセラー事業をよく活用している。 △保健室来室者が増加するのは、コロナ禍の負担のためと思われる。手厚い対応が必要。また、施設の老朽化による事故が心配。

総合評価	◎コロナ禍であったことや、ICT環境が整備されたことに伴い、ICTを活用した授業（オンライン授業の実施）が一段と推進された。 ◎部活動においては、制限がある中にもかかわらず、文化部を中心に活躍した部が多かった。 ◎文化祭・クラスマッチは、コロナ感染予防を考慮した取り組みであったが、生徒の工夫により、非常に楽しめる行事に仕上がったと言える。 ◎図書館主導により、ビブリオバトル・回し読み新聞など、生徒のリーディングスキル向上に一定の成果を上げている。 ○「ポートフォリオ」は自己の振り返りや志望動機の確認に役立つものの、今後の活用に関しては検討の余地がある。 ○身体面で不調を訴える生徒も少なくなかったものの、スクールカウンセリングや教員間の情報交換により、登校継続につなげることができたケースが多い。 ○i-Seeプロジェクトにおいて、一定の成果を上げている。来年度の1年次から4つの講座を設定、探究の更なるスキルアップを図っていくように企画していく。 ○学校評価アンケートにおいて、生徒・保護者ともほぼ高い評価をいただいた。社会活動面は低い評価だが、コロナ禍では仕方がない。 △保護者による学校との連携面でも満足度が低い傾向にあり、コロナ禍とはいえ、改善の余地がある。 △学校評価アンケートへの入力をグーグルフォームに変更したことにより、回答率が下がってしまった。次年度は工夫し、回答率を上げた。 △働き方改革への取り組み、外部組織との連携など、まだ不十分なところもあり、さらに効果が上がる方法について、職員一同で研修を深める必要がある。	【生徒評価】 「i-Seeプロジェクトの意義を十分理解し、積極的に取組んでいる。」 <table><thead><tr><th>年度</th><th>評価率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1年度</td><td>52%</td></tr><tr><td>第2年度</td><td>79%</td></tr><tr><td>第3年度</td><td>80%</td></tr><tr><td>第4年度</td><td>82%</td></tr><tr><td>第5年度</td><td>85%</td></tr><tr><td>第6年度</td><td>87%</td></tr><tr><td>第7年度</td><td>89%</td></tr><tr><td>第8年度</td><td>94%</td></tr><tr><td>第9年度</td><td>94%</td></tr></tbody></table>	年度	評価率 (%)	第1年度	52%	第2年度	79%	第3年度	80%	第4年度	82%	第5年度	85%	第6年度	87%	第7年度	89%	第8年度	94%	第9年度	94%
	年度	評価率 (%)																				
第1年度	52%																					
第2年度	79%																					
第3年度	80%																					
第4年度	82%																					
第5年度	85%																					
第6年度	87%																					
第7年度	89%																					
第8年度	94%																					
第9年度	94%																					